

夏本番目前！今年の猛暑対策に タチカワブラインド製品で叶える快適＆省エネ生活のご紹介

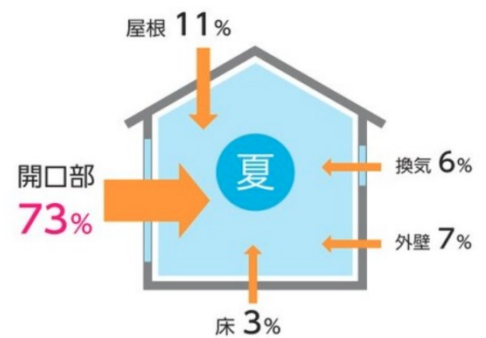
光熱費の高騰が続く中、2024年の夏はさらに暑くなると予想されており、夏本番に向けた省エネ対策の必要性がますます高まっています。特に、冷房効率を向上させるためには、屋外から室内へ入ってくる熱エネルギーを抑えることが重要です。実際、熱エネルギーの約73%は窓などの開口部から室内に入ってくるといわれています。快適な室内環境を保つためには、窓まわりの工夫が欠かせません。

また、室内の冷房効率を高めるために、使う部屋だけを効率的に冷やすといった工夫も求められます。今号のニュースレターでは、来る猛暑に向けて、お部屋の「快適性」と「省エネ性」を叶える2つの製品をご紹介します。



ハニカムスクリーン「ブレア ペア」 上生地:ラジエ遮熱(キナリ)、下生地:メライト(グレー)

熱が入ってくる割合（夏の冷房時）



暑い夏の季節、屋外から室内へ入ってくる熱エネルギーを100%とすると、窓などの開口部から室内に入ってくる熱エネルギーは約73%といわれています。

参照：一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
平成11年省エネ基準レベルの断熱性能の住宅での試算例

①ハニカムスクリーン「ブレア」：ハニカム構造が窓まわりの断熱性を向上

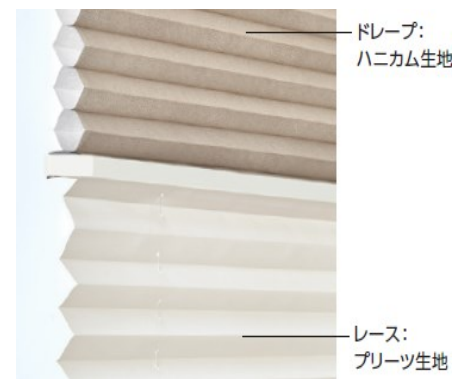
ハニカムスクリーン「ブレア」はハニカム（蜂の巣）構造の生地がつくる空気層により、高い断熱性のある窓まわりのアイテムです。「ブレア ペア」は、ハニカム生地とプリーツ生地（レース）を上下に組み合わせ、生地の分量を調節することで、お部屋に入る光の量を調節できます。昼間はレースで光を採り入れ、夜はドレープで外からの視線を遮り、プライバシーを確保するとともに、窓まわりの断熱性を高めることができます。また、日射しによる夏の暑さ対策として遮熱の機能を持ったレース生地を選ぶことで、省エネ効果がさらにアップします。



ハニカムスクリーン「ブレア」の構造。ハニカム(蜂の巣)構造の生地がつくる空気層が窓迎の断熱性を高め、冷暖房効率が向上。



ハニカムスクリーン「ブレア」効果的に日射しを遮る遮光生地をラインナップ。



1台にドレープ(ハニカム生地)とレース(プリーツ生地)を組み合わせた「ブレア ペア」。
※レースの位置は上下どちらでも選べます。

【参考本体価格(税別)】製品サイズ：幅180cm×高さ180cmの場合

ハニカムスクリーン「ブレア」 87,000円～

ハニカムスクリーン「ブレア ペア」 123,000円～

② 間仕切「プレイス スウィング」：リビング階段を間仕切りで仕切ること冷房効率アップ

広い部屋では、エアコンの冷房にかかる電気代も気になるもの。特におしゃれで人気のあるリビング階段のあるお宅ではスペースを有効に使えて、家族とのコミュニケーションをとりやすいというメリットがある一方で、冷房をしても室温を保つのが難しく冷房効率が下がります。そんなときにおすすめなのが、「間仕切り」を活用した冷房効率アップの方法です。リビングと階段を仕切ること、冷気の漏れを防ぎ、効率的に涼を取れるだけでなく、省エネ効果も高まります。

「プレイス スウィング」はスリムなフレームで、スタイリッシュに部屋の仕切りや収納の目隠し、出入り口の扉など様々な用途にお使いいただける間仕切製品。出入りがスムーズな「引戸」や、開口を有効に使える「折戸」、「引戸」と「折戸」両方の機能をもった製品など、シーンや用途に合わせて格納方式と出入りの方法が選べます。また、1mm単位で、全てオーダーサイズで製作できるので、リフォーム・リノベーションにもおすすめです。



間仕切「プレイス スウィング」(格納方式・出入りの方法：引戸)
<オプション>アウトセット納まり(天井付け)



間仕切「プレイス スウィング」(格納方式・出入りの方法：折戸)
<オプション>パネル中心吊り

[参考本体価格(税別)] 製品サイズ：幅 180 cm×高さ 180 cmの場合
間仕切「プレイス スウィング」 107,000 円～

<タチカワブラインド ホームページ「お役立ちコラム」>

窓まわりの遮熱・断熱で暑い夏を快適にする方法はこちら

<https://www.blind.co.jp/column/details/33>

※生地やパネルデザイン等により製作可能寸法・価格が異なります。

※表示価格は消費税を含まないメーカー希望小売価格(本体価格)です。取付け費、工事費、物流諸経費等は含まれておりません。